

1. 平成30年学習指導要領の主な改訂のポイント

- 鑑賞において、自分や社会にとっての音楽の意味や価値、音楽表現の共通性や固有性などについて考えることを通して、生活や社会の中の音や音楽の働きや、音楽文化についての関心や理解を深める学習の充実
- 〔共通事項〕の新設
- 音や音楽及び言葉によるコミュニケーションを図る言語活動の充実

2. 学習指導要領実施状況調査から明らかとなった成果と課題

- ・ 創作において、自分の表したいイメージと音楽を形づくっている要素の働きとを関わらせること、鑑賞において、音楽を聴いてその特徴を聴き取ったり、その音楽の文化的・歴史的背景を理解したりしながら、自分と音楽との関わりについて考え、言葉で説明することについては相当数の生徒ができている。
- ・ 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な知識及び技能について具体的に説明すること、音楽を聴いてその特徴を捉え、音楽に関する用語を適切に使って説明することについては課題があると考えられる。

3. 2の成果と課題を踏まえた改善の方向性

- 指導上の改善点
 - ・ 表現意図を音楽で表現できるよう、音楽を形づくっている要素とその働きとの関わりについて考え、必要性を感じながら技能を習得するための指導の充実を図る。
 - ・ 生徒が音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていくことができるよう、自分や社会にとっての音楽の意味や価値について考える指導の更なる充実を図る。
 - ・ 音楽に関する用語や記号などについて、実感を伴って理解することができるよう、音楽における働きと関わらせた音楽活動を工夫する。

4. 調査問題例（ペーパーテスト調査）

創作において、表現意図を記述する問題例

（別紙1参照）

- 主に「思考力、判断力、表現力等」の育成に関連し、
 - ・ 自分が思い描いた情景と関わらせて、例示された複数の旋律の雰囲気の違いを感じ取り、自分が表したいと考えた旋律について表現意図を記述する問題を出題。 【通過率 68.4%、72.2%、85.8%】

鑑賞において、自分と音楽との関わりについて考え、言葉で説明する問題例

（別紙2参照）

- 主に「思考力、判断力、表現力等」の育成に関連し、
 - ・ 人間と音楽との関わり視点から、文化的・歴史的背景の異なる2つの音楽を比較して聴き、今後自分が音楽と関わっていく上で着目したいことについて言葉で説明する問題を出題。 【通過率 67.8%】

歌唱において、表現意図と関わらせた知識及び技能について記述する問題例

（別紙3参照）

- 主に「知識及び技能」の習得に関連し、
 - ・ 二部合唱において、音の重なり方や声部の関わり方に着目して音楽の特徴を捉え、表現意図を踏まえてどのように歌うかについて記述する問題を出題。 【通過率 15.0%】

鑑賞において、リズム・パターンの変化の説明として適切な用語を選択する問題例

（別紙4参照）

- 主に「知識」の習得に関連し、
 - ・ 変奏曲の「主題」と「変奏」を聴いて、リズム・パターンの変化を聴き取り、その変化について説明する文に当てはまる適切な用語を選択する問題を出題。 【通過率 37.3%】

音楽 I 創作

創作において、表現意図を記述する問題例

音楽 I 「A 表現」(3)創作

ア 創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって創作表現を創意工夫すること、及び〔共通事項〕(1)ア 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、その働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えることについて問う問題

○4 (2)自分が思い描いた情景と関わらせて、例示された複数の旋律の雰囲気の違いを感じ取り、自分が表したいと考えた旋律について表現意図を記述する問題を出題
このような問題により、創作の活動を通した「思考力、判断力、表現力等」の育成の状況について測る。

- 4 下の楽譜は、唱歌「ちょうちょう」(原曲:ドイツ民謡「幼いハンス」)の旋律の冒頭4小節の楽譜です。恵美さんは創作の授業で、この4小節の旋律を「主題」とし、これを変奏する課題に取り組みました。この創作について、あとの(1)、(2)の問題に答えなさい。

はじめに「ちょうちょう」の旋律の冒頭4小節が1回流れます。



- (2) あなたもこの変奏の課題に取り組むことになり、左のページの【恵美さんの表現意図】に倣って次のように表現意図をまとめました。

【あなたの表現意図】

「主題」の(ア)変化させ、(イ)音楽の雰囲気にすることで、(ウ)蝶を表現したいです。

あなたがイメージする蝶の様子に最も近い音楽を下の1から4の中から1つ選び、その上で【あなたの表現意図】を次のページの【条件】に従って完成させなさい。(18 (19 (20



音楽 I 創作

創作において、表現意図を記述する問題例

3 

4 

【条件】

- (ア)には、あとの〈選択肢〉の中から最もふさわしいものを1つ選ぶこと。
 (イ)には、(ア)のように変化させることで生まれる音楽の雰囲気について書くこと。
 (ウ)には、あなたがイメージする蝶の様子について書くこと。

〈(ア)の選択肢〉

- 1 拍子を3拍子に
- 2 旋律の一部の音の高さを1オクターヴ高く
- 3 リズムを付点音符を用いたリズムに
- 4 旋律を十六分音符を用いた旋律に
- 5 調を短調に

上の1から4の音楽が1回ずつ流れます。音楽を聴きながら解答しても構いません。

4 (2)の正答例

○音楽1を選んだ場合

- アの正答 3
 イの正答例 陽気な、のんびりとした
 ウの正答例 ゆったりと飛んでいる、楽し気に舞う

○音楽2を選んだ場合

- アの正答 4
 イの正答例 忙しい、せわしない、快活な、軽快な
 ウの正答例 小刻みに羽を震わせる、忙しく飛び回る、軽やかに飛ぶ

○音楽3を選んだ場合

- アの正答 5
 イの正答例 物憂げな、暗い
 ウの正答例 悲し気に舞う、寂しそうに飛ぶ

○音楽4を選んだ場合

- アの正答 1
 イの正答例 軽快な、華やかな
 ウの正答例 踊るように飛ぶ、優雅に舞う

【通過率 ア 68.4% イ 72.2% ウ 85.8%】

音楽Ⅰ 鑑賞

鑑賞において、自分と音楽との関わりについて考え、言葉で説明する問題例

音楽Ⅰ「B鑑賞」(1)鑑賞 ア(イ) 自分や社会にとっての音楽の意味や価値について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴くことについて問う問題

○5(3)人間と音楽との関わりからの視点から、文化的・歴史的背景の異なる2つの音楽を比較して聴き、今後自分が音楽と関わっていく上で着目したいことについて言葉で説明する問題を出题
 このような問題により、鑑賞の活動を通じた「思考力、判断力、表現力等」の育成の状況について測る。

5 これから流れる鑑賞の授業の様子を聴いて、あとの(1)から(3)の問題に答えなさい。

【授業の様子】が流れます。

【授業の様子】

先生： **Aの音楽**は、ドイツの作曲家J.S. バッハの作品です。彼の音楽は、後世の音楽家たちに大きな影響を与えました。**Bの音楽**は、ロシアで活躍した作曲家N. カプースチンの作品です。彼はアメリカで生まれた音楽であるジャズに影響を受け、クラシック音楽とジャズを融合した独自のスタイルを確立し、聴衆に新鮮な驚きを与えました。

恵美さん： 音楽は、時代や地域、文化の違いなどによって様々なものがあるけれど、それらが融合することで新しいものが生まれることがあるんですね。

尚也さん： もしかしら、**Bの音楽**はクラシック音楽が好きな人とジャズが好きな人が一緒に楽しめる音楽なのかもしれませんね。

あなた：

恵美さん： それまで知らなかった時代や地域の音楽に興味をもつきっかけになるかもしれません。

先生： そうですね。今日の授業では、音楽という存在をいろいろな側面から見ることができました。これまで気づけなかったことをいろいろ発見することができましたね。

(3) (ア)で、今後あなたが音楽と関わっていく上で着目したいことについて発言するとしたら、どのような内容を発言しますか。この授業から学んだことや考えたことを踏まえて書きなさい。(23)

5(3)の正答例 今まで聴こうとしてこなかった時代や地域の音楽も実際聴いてみれば、自分の好きな音楽との共通点が見つかるかもしれない。これからはもっといろいろな音楽にも触れていきたい。

【通過率 67.8%】

音楽Ⅰ 歌唱

歌唱において、表現意図と関わらせた知識及び技能について記述する問題例

音楽Ⅰ「A表現」(1)歌唱 イ(ア)曲想と音楽の構造との関わりについて理解すること 及びウ(イ)創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な他者との調和を意識して歌う技能を身に付けることについて問う問題

○1(3)二部合唱において、音の重なり方や声部の関わり方に着目して音楽の特徴を捉え、表現意図を踏まえてどのように歌うかについて記述する問題を出题
このような問題により、歌唱の活動を通して「思考力、判断力、表現力等」の育成と関わらせた「知識及び技能」の習得の状況について測る。

(3) この校歌の[B]の部分を、下の楽譜のように二部合唱に編曲しました。

二部合唱に編曲した[B]の部分の音楽が1回流れます。

A

1段目

この だいらに めぶく ーあおぼよ とも

2段目

と ーまなぼう きた えよう

B

声部Ⅰ

3段目

さかえあれわがふるさとよ まなびやとともに あす

声部Ⅱ

さかえあれわがふるさとよ まなびやとともに ともに

声部Ⅰ

4段目

を ーつくろう われらのほこーう

声部Ⅱ

あすを つくろう われらのほこーう

※「声部」とは「パート」のことです。

音楽Ⅰ 歌唱

歌唱において、表現意図を表すために必要な技能について説明する問題例

この二部合唱の楽譜の4段目「あすをつくろう われらのぼこう」の表現をどのように工夫するかについてワークシートに記述することになりました。あなたが声部Ⅱを担当するとしたら、「われらのぼこう」の部分の表現の工夫についてどのように記述しますか。次の□の文中の（ア）、（イ）に当てはまるあなたの考えを、あとの【条件】に従って書きなさい。（3）

【ワークシートの記述】

4段目の歌詞は、同じ学校で学ぶ仲間同士、協力し合いながら明るい未来を築いていこうという前向きな気持ちを表しているように感じます。2つの声部の関わり方に着目すると、「あすをつくろう」の部分では、声部Ⅰと声部Ⅱが掛け合いになっています。だから、仲間と声を掛け合っているように、声部Ⅱは声部Ⅰと同じ声量で、声部Ⅰとのつながりを意識して歌いたいです。

一方、「われらのぼこう」の部分は（ア）ので、（イ）歌いたいです。

1(3)の正答例

ア 同じリズムで一緒に動く
イ 声部Ⅰとリズムがずれないように

ア 違う音で重なってハーモニーをつくっている
イ 声部Ⅰが目立つように声量を調整しながら

【通過率 15.0%】

音楽Ⅰ 鑑賞

鑑賞において、リズム・パターンの変化の説明として適切な用語を選択する問題例

音楽Ⅰ「B鑑賞」(1)鑑賞 イ(ア) 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解すること、及び〔共通事項〕(1)ア 音楽を形づくっている要素及び音楽に関する用語や記号などについて、音楽における働きと関わらせて理解することについて問う問題

○2(3) 変奏曲の「主題」と「変奏」を聴いて、リズム・パターンの変化を聴き取り、その変化について説明する文に当てはまる適切な用語を選択する問題を出題
このような問題により、鑑賞の活動を通じた「知識」の習得の状況について測る。

(3) これからある変奏曲の一部分が流れます。「変奏曲」とは、「主題」となる音楽と、その「主題」となる音楽の、音楽を形づくっている要素を様々に変化させてつくった「変奏」によって構成されるひとまとまりの曲のことで。

「主題」と2つの「変奏」のそれぞれ一部分が1回ずつ流れます。

この変奏曲について述べた次の□の文中の(ア)、(イ)に当てはまる言葉として最もふさわしいものを、あとの〈選択肢〉の1から9の中から1つずつ選びなさい。

(14/15)

1つ目の変奏では、リズムが(ア)の連続に変わります。

2つ目の変奏では、拍子が(イ)に変わります。

〈選択肢〉

1 スラー	2 三連符	3 付点音符
4 3拍子	5 4拍子	6 5拍子
7 アクセント	8 スタッカート	9 シンコペーション

「主題」と2つの「変奏」のそれぞれ一部分が1回ずつ流れます。

2(3)アの正答 2 (三連符)

【通過率 37.3%】